MITSUBISHI

三菱電機ビル空調管理システム
三菱電機スリムエアコン用共通

MAスマートリモコン　PAR-34MA

据付工事説明書（据付編）

WT06790X01

販売店・工事店さま用

この説明書は共通MAリモコン（三菱電機ビル空調管理システム〈直膨式マルチエアコン室内ユニット（Cタイプ以降）〉用と三菱電機スリムエアコン用）の据付工事について記載しています。リモコンの操作･設定方法に関しては据付工事説明書（設定編）、空調機本体への配線および空調機本体の据付工事に関しては空調機本体の据付工事説明書を参照ください。

1　安全のために必ず守ること

- この「安全のために必ず守ること」をよくお読みのうえ、据付けてください。
- ここに記載した注意事項は、安全に関する重要な内容です。必ずお守りください。

警告	取扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷を負うことが想定される危害の程度
注意	取扱いを誤った場合、使用者が傷害を負うことが想定されるか、または、物的損害の発生が想定される危害、損害の程度

- 図記号の意味は次のとおりです。

（一般禁止）
（水ぬれ禁止）
（ぬれ手禁止）
（発火注意）
（感電注意）
（一般指示）

- お読みになったあとは、お使いになる方に必ず本書をお渡しください。
- お使いになる方は、この本書をいつでも見られるところに大切に保管してください。移設・修理の場合、工事をされる方にお渡しください。また、お使いになる方が代わる場合、新しくお使いになる方にお渡しください。

電気配線工事は「第一種電気工事士（工事条件によっては第二種電気工事士）」の資格のある者が行うこと。

一般事項

⚠警告

特殊環境では、使用しないこと。
- 油・蒸気・有機溶剤・腐食ガス（アンモニア・硫黄化合物・酸など）の多いところや、酸性やアルカリ性の溶液・特殊なスプレーなどを頻繁に使うところで使用した場合、著しい性能低下・腐食による感電・故障・発煙・火災のおそれあり。

使用禁止

水・液体で洗わないこと。
- ショート・漏電・感電・故障・発煙・発火・火災のおそれあり。

水ぬれ禁止

濡れた手で電気部品に触れたり、スイッチ・ボタンを操作したりしないこと。
- 感電・故障・発煙・発火・火災のおそれあり。

ぬれ手禁止

カバーを取付けること。
- 不備がある場合、ほこり・水などによる感電・発煙・発火・火災のおそれあり。

指示を実行

注意

先のとがった物で表示部・スイッチ・ボタンを押さないこと。
- 感電・故障のおそれあり。

使用禁止

据付工事をするときに

⚠警告

可燃性ガスの発生・流入・滞留・漏れのおそれがあるところに設置しないこと。

- 可燃性ガスがユニットの周囲にたまった場合、火災・爆発のおそれあり。

据付禁止

製品の質量に耐えられるところに据付けること。

- 強度不足や取付けに不備がある場合、製品が落下し、けがのおそれあり。

指示を実行

⚠注意

製品を水のかかるおそれのあるところ・湿度が高く結露するようなところには据付けないこと。

- ショート・漏電・感電・故障・発煙・発火・火災のおそれあり。

水ぬれ禁止

販売店または専門業者が据付工事説明書に従って据付工事を行うこと。

- 不備がある場合、感電・火災のおそれあり。

指示を実行

"パチッ"と音がするまではめ込むこと。

- はまっていない場合、製品が落下し、けが・損傷・故障のおそれあり。

指示を実行

電気工事をするときに

⚠警告

電源線を信号端子台に接続しないこと。

- 接続した場合、損傷・故障・発煙・発火・火災のおそれあり。

接続禁止

端子接続部に配線の外力や張力が伝わらないように固定すること。

- 接続や固定に不備がある場合、発熱・断線・発煙・発火・火災のおそれあり。

発火注意

第一種電気工事士（工事条件によっては第二種電気工事士）の資格のある者が、「電気設備に関する技術基準」・「内線規程」および据付工事説明書に従って電気工事を行うこと。電気配線には所定の配線を用い専用回路を使用すること。

- 電源回路容量不足や施工不備がある場合、ユニットが故障し、感電・発煙・発火・火災のおそれあり。

指示を実行

電源配線工事には、電流容量などに適合した規格品の配線を使用すること。

- 不適合の場合、漏電・発熱・発煙・発火・火災のおそれあり。

指示を実行

⚠注意

ケーブルの切屑などが端子台に入らないようにすること。

- ショート・感電・故障のおそれあり。

感電注意

配線引込口をパテでシールすること。

- 露・水が侵入した場合、感電・故障・火災のおそれあり。

指示を実行

移設・修理をするときに

⚠警告

移設・修理をする場合、販売店または専門業者に依頼すること。分解・改造はしないこと。

- 不備がある場合、けが・感電・火災のおそれあり。

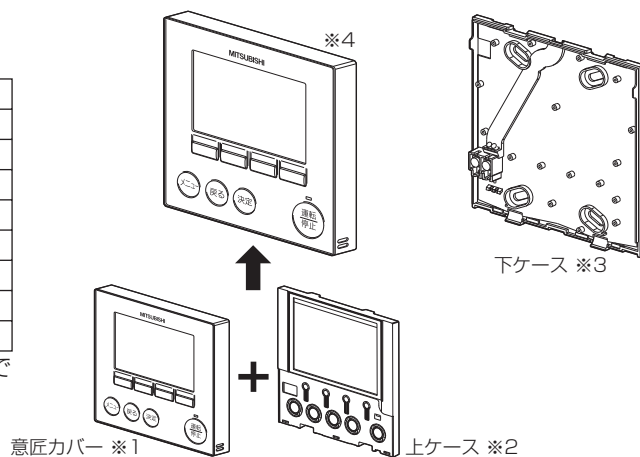
禁止

2 各部の名称と付属部品

箱の中には下記部品が入っています。

品　　名	個数（個）	外　観
リモコン（意匠カバー）	1	右図※1
リモコン（上ケース）	1	右図※2
リモコン（下ケース）	1	右図※3
十字穴付きナベネジ　M4×30	2	
木ネジ　4.1×16（壁に直接取付ける時使用）	2	
据付工事説明書（据付編）本書	1	
据付工事説明書（設定編）	1	
取扱説明書	1	

※4　意匠カバー（※1）と上ケース（※2）は、はめ込まれた状態で工場出荷されます。

※5　リモコンケーブルは付属していません。

3 現地手配部品・必要工具

（1）現地手配部品

下記の部品は現地にて手配してください。

品　　名	所要量	備　考
スイッチボックス：2個用（JIS C8340）	1	壁面に直接据付ける場合は不要です
薄鋼電線管（JIS C8305）	必要量	
ロックナット、ブッシング（JIS C8330）	必要量	
モール（JIS C8425）	必要量	リモコンケーブルを壁面に這わす場合に必要です
パテ	適量	
モリーアンカー	必要量	
リモコンケーブル （0.3mm² 2心シース付ケーブルを使用してください）	必要量	以下の別売ケーブルも使用できます PAC-YT81HC(10m),PAC-YT82HC(20m)

（2）現地必要工具

・マイナスドライバー（刃幅5mm）
・ナイフまたはニッパー
・その他一般工具

4 据付場所の選定

本リモコンは壁面に据付ける仕様となっています。「スイッチボックスを使用する」または「壁面に直接据付ける」が選択できます。「壁面に直接据付ける」場合、配線取出し方法を「背面取出し」または「上部取出し」から選択できます。

（1）据付場所の選定

リモコン（スイッチボックス）を、以下の条件を満たす場所に据付けてください。

（a）フィルタの自動昇降機能付室内ユニットと接続される場合、操作する室内ユニットの昇降動作がリモコンを操作しながら確認できる所（自動昇降の操作方法については室内ユニットの取扱説明書を参照してください。）

（b）据付け面が平らな所

（c）リモコンが正確な室内温度を検知できる所

室内温度を検知する温度センサはリモコンと室内ユニットの両方に付いています。リモコンの温度センサを使用して室内温度を検知する場合は、主リモコンに設定したリモコンが室温を検知します。この場合、下記事項を守ってください。

・リモコンは、熱源の影響を受けない場所に据付けてください。
（直射日光やエアコンの吹き出し空気が直接あたる場合、リモコンが正確な室温を検知できません。）
・リモコンは、部屋の平均的な温度を検知できる場所に据付けてください。
・リモコンの温度センサ付近に他の配線が無い場所に据付けてください。
（配線がある場合、リモコンが正確な室温を検知できません。）

お願い

コントローラを導電性があるところ（塗装をしていない金属面など）に据え付けないでください。

⬩故障・誤動作のおそれあり。

直射日光のあたる場所、または周囲温度が40℃以上・0℃以下になる場所に製品を据付けないでください。

⬩変形・故障のおそれあり。

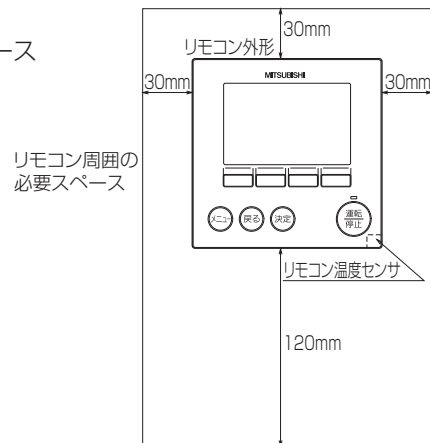
コントローラ設置壁面の表面付近の温度と実際の室温と差が大きい場所に据付けないでください。

⬩検知した室温と実際の室温を誤検知するおそれあり。

病院・通信・放送設備がある事業所などに据付ける場合、ノイズに対する備えを行ってください。

⬩インバーター機器・自家発電機・高周波医療機器・無線通信機器などの影響による、製品の誤動作・故障のおそれあり。
⬩製品側から医療機器に影響を与え、人体の医療行為を妨げるおそれあり。
⬩製品側から通信機器に影響を与え、映像放送の乱れや雑音の弊害が生じるおそれあり。

（2）据付スペース

リモコンをスイッチボックス・壁面のどちらに据付ける場合でも右図に示すスペースを確保してください。スペースが不足すると、リモコンを外しにくくなります。
また、リモコン正面側には操作ができるスペースを確保してください。

5 据付・配線工事

（1）据付工事

据付工事には「スイッチボックスを使用する場合」と「壁面に直接据付ける場合」があります。据付け方法に応じて工事を行ってください。

①壁面に据付け用の穴を開ける

■スイッチボックスを使用する場合

・壁面に穴を開け、スイッチボックスを据付けてください。

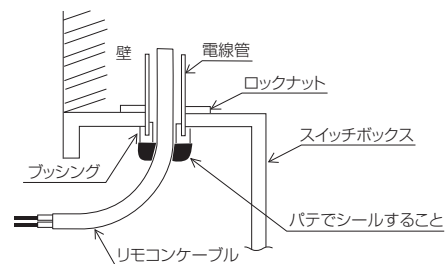
・スイッチボックスと電線管を接合してください。

■壁面に直接据付ける場合

・壁に穴を開け、リモコンケーブルを通してください。

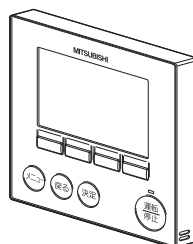
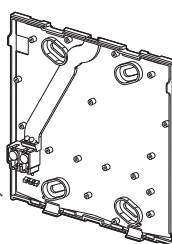
②リモコンケーブル引込口をシールする

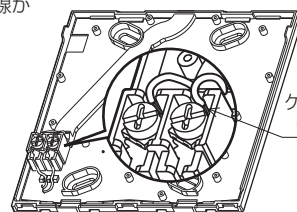
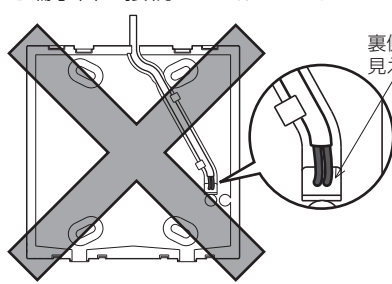
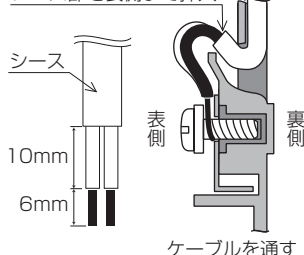
■スイッチボックスを使用する場合

・スイッチボックスと電線管の結合部のリモコンケーブル引込口をパテでシールしてください。

配線引込口をパテでシールすること。

⬩露・水が侵入した場合、感電・故障・火災のおそれあり。

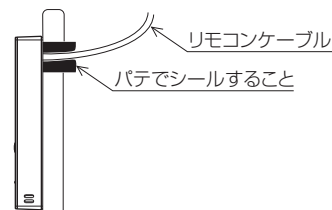
③リモコンを準備する

リモコン本体の下ケースを取出します。

④リモコンケーブルを下ケースの端子台に接続する

リモコンケーブルを下記図のように加工し、下ケース背面から通してください。
リモコンケーブルのシースをむきとった部分が背面から見えなくなるように、下ケース表側まで挿入してください。
被覆が噛まないようリモコンケーブルを端子台に接続してください。

■壁面に直接据付ける場合

・下ケースのリモコンケーブルを通した穴をパテでシールしてください。

ケーブルの切屑などが端子台に入らないようにすること。

⬩ショート・感電・故障のおそれあり。

お願い

配線を端子台に接続する際に、圧着端子を使用しないでください。

⬩基板と接触し故障のおそれあり。

⬩カバーと接触しカバー損傷のおそれあり。

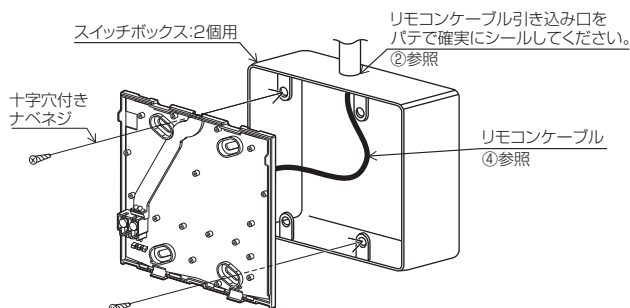
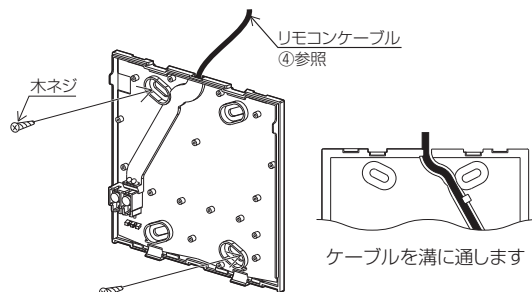
⑤下ケースを据付ける

■スイッチボックスを使用する場合

・下ケースをスイッチボックスへ据付ける場合は必ず2カ所以上固定してください。

■壁面に直接据付ける場合

・ケーブルを溝に通します。
・下ケースを壁面へ据付ける場合は必ず2カ所以上固定してください。
・配線により壁面からリモコンが浮くことを防止するため、リモコン正面から見て左上と右下の2カ所を必ず固定してください。（モリーアンカーなどを使用して固定してください。）

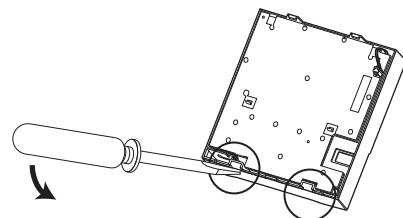
■スイッチボックスを使用する場合

■壁面に直接据付ける場合

お願い

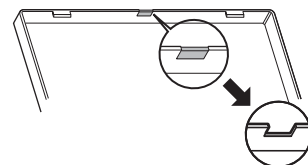
ネジを締めすぎないでください。
◆損傷するおそれあり。

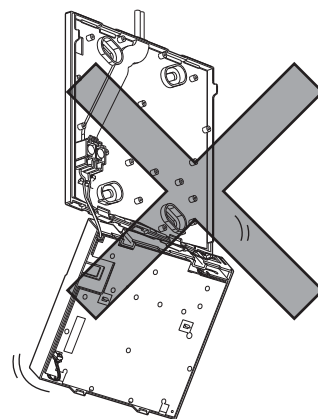
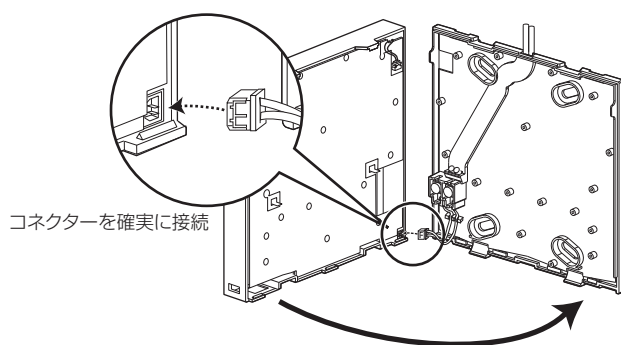
追加穴を開けないでください。
◆ケース損傷のおそれあり。

⑥配線穴を加工する

■壁面に直接据付ける場合 （リモコンケーブルを壁面に這わす場合）

・刃幅5mmのマイナスドライバーをリモコン下部の意匠カバーと上ケースの間の二箇所の溝のそれぞれに軽く差し込み、矢印で示す方向に動かします。
意匠カバーから上ケースが少し浮いた状態となりますので上ケースを手前上に引いて取外してください。
・意匠カバーの内側薄肉部（右図の塗潰し部）をナイフ・ニッパーなどで切り取ってください。
（下ケース背面の配線溝に通したリモコンケーブルをこの部分から取出します。）
・上ケースを意匠カバーにはめ込みます。

お願い

意匠カバーを上ケースから取外して加工してください。
◆取外さないで加工した場合、基板が破損するおそれあり。

⑦上ケースに配線する

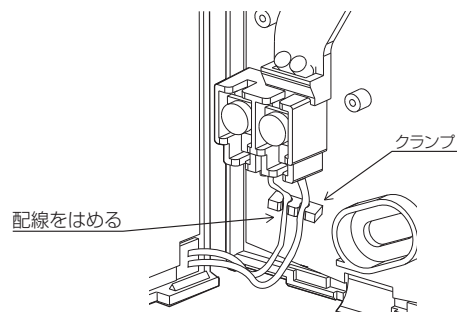
下ケースのコネクターを上ケースのコネクターに接続します。

お願い

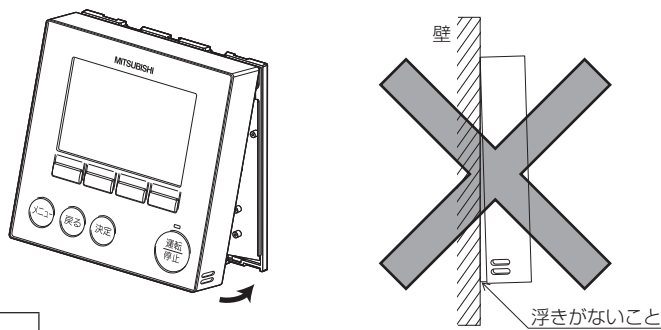
ケースから基板保護シート・基板は取外さないでください。
◆故障のおそれあり。

コネクター接続後、ケースをぶら下げないでください。
◆断線し、動作に支障をきたすおそれあり。

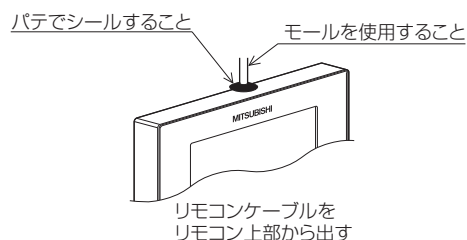
⑧配線をクランプにはめる。

お願い

配線はクランプにはめて固定してください。
◆固定していない場合、端子台に直接力が加わり断線のおそれあり。 ◆上ケースがはめ込めないおそれあり。

⑨リモコン意匠カバー・上ケースをはめ込む

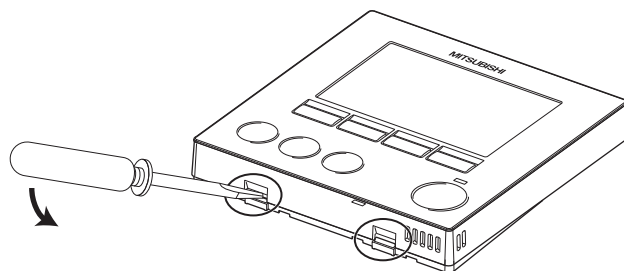
上ケース（工場出荷時、意匠カバーと上ケースは、はめ込まれた状態）の上部にツメが2カ所あります。
このツメを下ケースに引っ掛けて、”パチッ”と音がするまではめ込んでください。
ケースに浮きがないことを確認してください。

"パチッ"と音がするまではめ込むこと。
⬩はまっていない場合、製品が落下し、けが・損傷・故障のおそれあり。

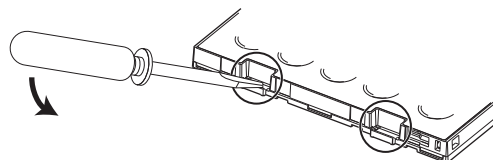
■壁面に直接据付ける場合 （リモコンケーブルを壁面に這わす場合）

・リモコンケーブルをリモコンの上部から出してください。
・意匠カバーの切り取った部分をパテでシールしてください。
・モール（配線カバー）を使用してください。

以上で据付工事は完了ですが、再度取外す場合は以下の方法で行ってください。

●リモコン意匠カバー・上ケースの外し方

①意匠カバーを外す

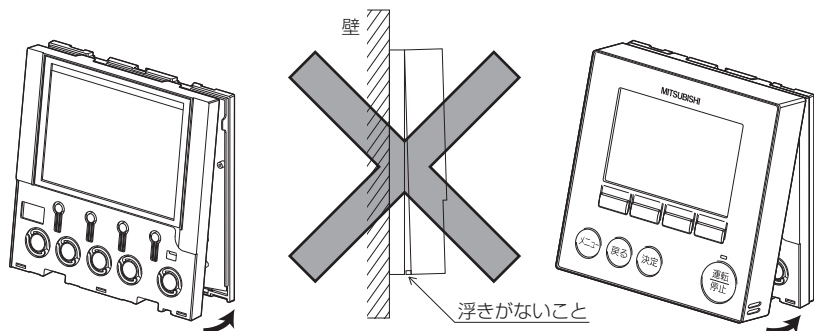
刃幅5mmのマイナスドライバーをリモコン下部2箇所のツメ部分のいずれかに差し込み、矢印で示す方向に動かします。
引っかかっているツメが外れますので意匠カバーを手前上に引いて取外してください。

②上ケースを外す

刃幅5mmのマイナスドライバーをリモコン下部2箇所のツメ部分のいずれかに差し込み、意匠カバーと同様にして外します。

お願い

マイナスドライバーを強く差し込まないでください。
⬩基板が破損するおそれあり。

マイナスドライバーをツメにはめ込んだ状態で強く回転させないでください。
⬩ケースが損傷するおそれあり。

③意匠カバー・上ケースを取付ける

上ケースの上部にツメが2カ所あります。
このツメを下ケースに引っ掛けて、”パチッ”と音がするまではめ込んでください。
同様に意匠カバーを上ケースにはめ込みます。
ケースに浮きがないことを確認してください。

"パチッ"と音がするまではめ込むこと。
⬩はまっていない場合、製品が落下し、けが・損傷・故障のおそれあり。

カバーを取付けること。
⬩不備がある場合、ほこり・水などによる感電・発煙・発火・火災のおそれあり。

6 お願い

■室温と壁温の差が大きい場合、リモコン設置壁面の表面付近の温度を検知するため室温と差が出るおそれがあります。
以下のような設置条件の場合、室内ユニットの温度センサ使用を推奨します。
・室内の気流分布が悪く、リモコン設置壁面に吹き出し空気が到達しにくい場合
・設置壁面の温度と室温の差が大きい場合
・設置壁面の背面が外気に接している場合

お知らせ：急激な温度変化がある場合、温度検知の追従性が悪くなります。

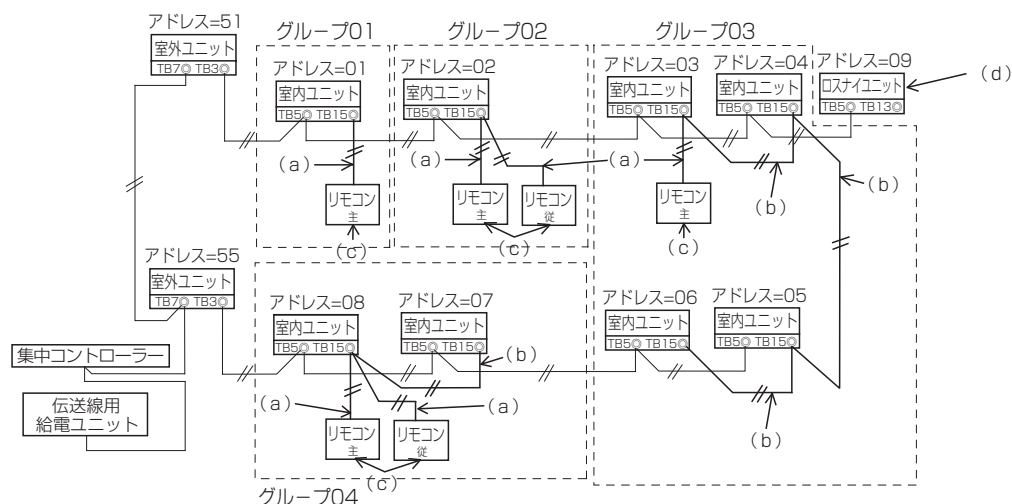
■リモコンの主／従設定は、「リモコンの据付工事説明書（設定編）主従設定の項」を参照してください。

■温度センサの設定は、「マルチエアコンシステムでは室内ユニットの据付工事説明書」「スリムエアコンではリモコンの据付工事説明書（設定編）機能選択の項」を参照してください。

■工場出荷時、意匠カバーの操作面に保護シートを貼っています。
ご使用の前に、保護シートをはがしてください。

7 伝送線配線

リモコンの配線は、マルチエアコンに接続する場合とスリムエアコンに接続する場合では異なります。
さらにシステム構成によっても異なりますので、確認してください。
空調機本体への配線および空調機本体の据付工事に関しては空調機本体の据付工事説明書を参照ください。

（1）マルチエアコンシステムと接続する場合
図中（a）～（d）は以下の説明文（a）～（d）と対応しています。

（a）リモコンー室内ユニットの配線
・室内ユニットのMAリモコン線用端子台（TB15）へ接続してください。
・リモコンの端子台（記号1，2）に接続してください。端子台に極性はありません。

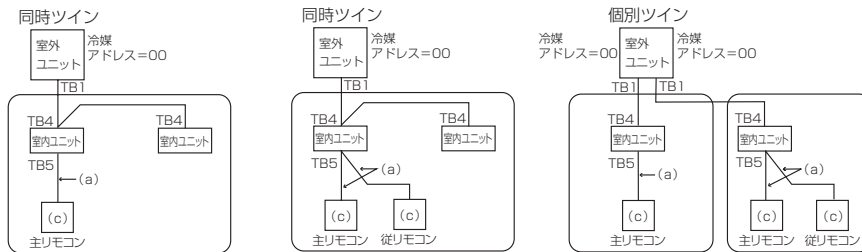
（b）グループ運転する場合（上記グループ03および04）
・グループ運転する室内ユニットのMAリモコン線用端子台（TB15）同士を渡り配線し、そこにリモコンを接続してください。
・上図のようにMELANSシステムコントローラーと併用する場合、システムコントローラ（上図では集中コントローラ）側でグループ設定が必要です。

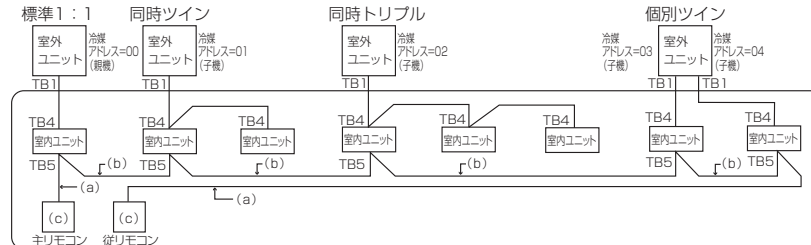
（c）リモコンケーブルの総延長,接続可能リモコン台数
接続される室内ユニットにより異なります。カタログ、システム・設計工事マニュアル等で確認してください。なお、リモコン1台接続時の総延長は200mです。

（d）ロスナイを連動させる場合は、据付工事説明書（設定編）を参照し、リモコンで設定してください。

(2) スリムエアコンと接続する場合

リモコンの配線はシステム構成によって異なりますので、以下の例に従って接続してください。
図中の（a）～（c）は以下の説明文（a）～（c）と対応しています。

〔1〕冷媒系統ごとにリモコンを接続する場合（標準1：1、同時ツイン、同時トリプル、同時フォー、個別ツイン）

MAスマートリモコンは
室内ユニットTB5へ
接続してください

〔2〕異冷媒系統でグルーピングする場合

※冷媒アドレスの設定は室外ユニットのディップスイッチにて行ないます。（詳細は室外ユニットの据付工事説明書を参照してください）

※ ［　］で囲まれた全室内ユニットを1グループとして制御します。

（a）リモコン－室内ユニットの配線
- ・室内ユニットのリモコン用端子台（TB5）へ接続してください。（極性はありません）
- ・同時マルチタイプにおいて、異なる機種の室内ユニットが混在する場合、必ず機能（風速、ベーン、ルーバーなど）の多い室内ユニットにリモコンを接続してください。

（b）異冷媒系統でグルーピングする場合の配線
- ・リモコンケーブルによりグルーピングを行ないます。グルーピングする各冷媒系統の室内ユニット代表1台のリモコン用端子台（TB5）間を渡り配線してください。
- ・同一グループ内に異なる機種の室内ユニットが混在する場合、必ず機能（風速、ベーン、ルーバーなど）の多い室内ユニットが接続されている室外ユニットを親機（冷媒アドレス＝00）としてください。また親機が同時マルチタイプとなった場合には必ず上記（a）の条件を満たしてください。
- ・MAスマートリモコンでは最大16冷媒系統を1グループとして制御可能です。

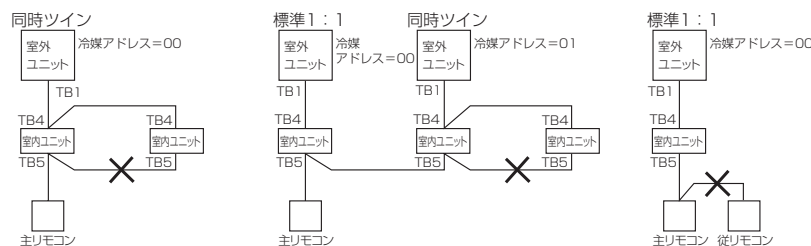
（c）1グループに2台までリモコンが接続できます。
- ・1グループにリモコンを2台接続した場合、主リモコンと従リモコンの設定を必ず行なってください。
- ・設定方法としては1グループに1台しか接続されていない場合は常に主リモコンに設定してください。1グループに2台のリモコンが接続される場合はそれぞれ主リモコンと従リモコンに設定してくだい。（据付工事説明書（設定編）参照）

（d）リモコンケーブルの総延長
- ・総延長は500mです。リモコンケーブルは0.3m²の2心ケーブルを使用してください。（現地手配）
  リモコンを2台接続した場合は総延長200mとなります。

お願い

同一冷媒系統の室内ユニットのリモコン用端子台（TB5）間の渡り配線はしないでください。
- 渡り配線した場合、システムが正常に作動しないおそれあり。

室内ユニットのリモコン用端子台（TB5）へ接続する場合、1つの端子台に同じサイズの配線を2本までとしてください。
- 不備がある場合、接触不良や配線外れのおそれあり。

リモコン同士の渡り配線はしないでください。
- リモコンの端子台には、配線は1本しか接続できません。

冷熱システム製作所　〒640-8686 和歌山市手平6-5-66　(073)436-2111(大代表)

MITSUBISHI

三菱電機ビル空調管理システム
三菱電機スリムエアコン用共通

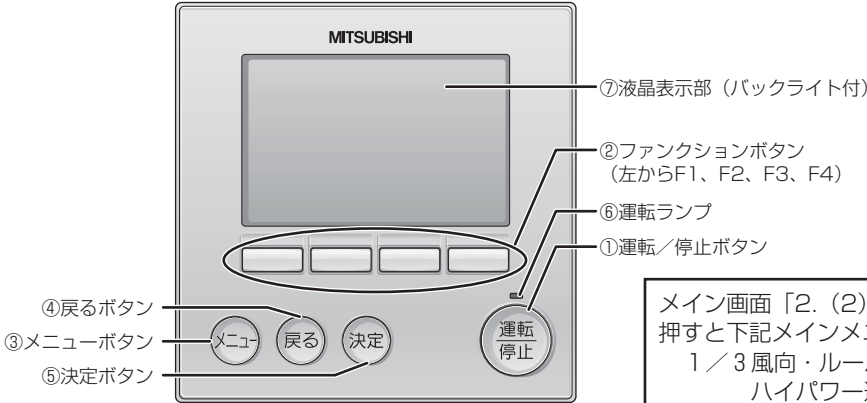
MAスマートリモコン　PAR-34MA

WT06791X01

据付工事説明書（設定編）

販売店・工事店さま用

この据付工事説明書は据付工事時に設定する項目（初期設定・サービス）について記載しています。よくお読みのうえ、設定してください。なお、リモコンの据付工事方法に関しては据付工事説明書（据付編）、空調機本体への配線および空調機本体の据付工事に関しては、空調機本体の据付工事説明書を参照ください。お読みになったあとは、お使いになる方に必ず本書をお渡しください。

1．リモコンの各ボタンの説明

①運転/停止ボタン
室内ユニットの運転/停止をおこないます。

②ファンクションボタン
メイン画面で運転モード、設定温度、風速を設定します。各画面でメニュー項目や設定の選択に使用します。

③メニューボタン
メインメニュー画面を表示します。

④戻るボタン
各画面で前の画面に戻るときに使用します。

⑤決定ボタン
各画面で設定画面に移行するときや、設定を確定するときに使用します。

⑥運転ランプ
運転中に緑色に点灯します。立上げ時、異常発生時は点滅します。

⑦液晶表示部
ドット表示します。いずれかのボタンを押すとバックライトが点灯し、一定時間後に消灯します。点灯時間は画面により異なります。点灯中にボタン操作すると点灯時間が延長されます。

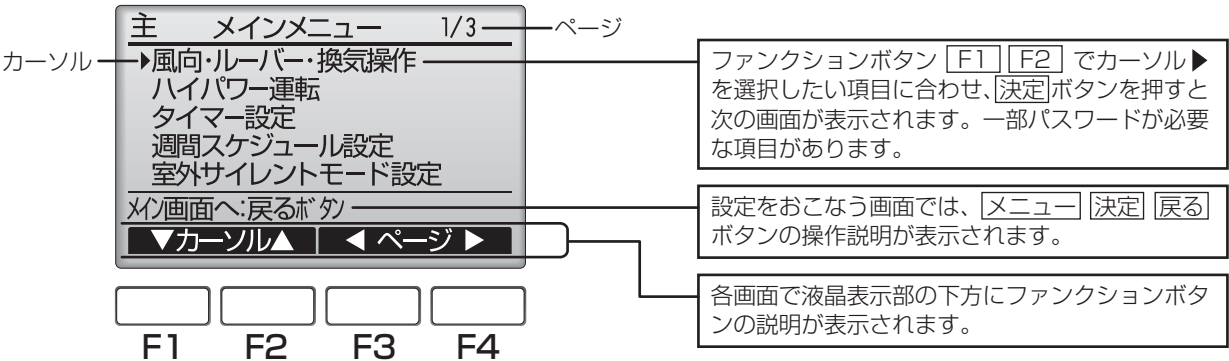
お知らせ　バックライトが消えている時は最初のボタン操作で、バックライトを点灯します。操作内容は受け付けません。（運転/停止ボタンは除く）

メイン画面「2.（2）メイン画面表示参照」にて メニュー ボタンを押すと下記メインメニューが表示されます。

1／3	風向・ルーバー・換気操作	※1
	ハイパワー運転	※1
	タイマー設定	※1
	週間スケジュール設定	※1
	室外サイレントモード設定	※1
2／3	制限設定	※1
	省エネ設定	※1
	自動清掃設定	※1
	フィルター情報	※1
	異常情報	※1
3／3	CO_2排出量表示（スリムのみ）	※1
	メンテナンス	※1
	初期設定	※2　※3
	サービス	※2　※3
	Q&A	※1

※1　詳細は取扱説明書を参照してください。
※2　本説明書に記載している内容です。
※3　初期設定各画面で10分間、サービス各画面で2時間操作が無い場合（一部の画面では10分間）は自動的にメイン画面に戻ります。このとき設定途中のデータは破棄されます。

接続する室内ユニットによって使用できるメニューが異なります。本リモコンに同梱している説明書に記載されていない事項は空調機本体の説明書を参照してください。

ボタンの操作について（メインメニュー画面の操作例）

2．電源投入

据付工事説明書（据付編）に従って本機の据付工事が完了しているか、また、室内ユニット、室外ユニットの据付工事が完了しているか確認してください。ユニットの電源を投入してください。

（1）電源投入後、次の表示が出ます。

Please Wait
10%

正常時（立上げ進捗を%表示します）

お知らせ

マルチエアコンにはペアリモコン接続できない機種があります。接続可否についてはカタログ等を参照してください。

（2）メイン画面表示

正常に立ち上がるとメイン画面が表示されます。メイン画面は「詳細画面」と「簡易画面」の２種類を選択できます。画面の切換えについては「4.初期設定」の項を参照してください。（工場出荷時は「詳細画面」です。）

メイン画面例（停止時詳細画面）

メイン画面例（運転時詳細画面）

お願い

・ペアリモコン使用時は、１台を必ず従リモコンに設定してください。
　設定方法は「4.初期設定」の項を参照してください。
・アイコン表示の意味については「取扱説明書」を参照してください。

3．試運転〈サービス用パスワードが必要です〉

（1）試運転をおこなう前に必ず室内ユニットの据付工事説明書の「試運転」項目を参照してください。
（2）メイン画面から、「メインメニュー」→「サービス」→「試運転」→「試運転操作」より、試運転をおこないます。
（3）運転／停止ボタン操作により試運転は停止します。
（4）試運転の詳細、および試運転によって異常が発生した場合の対応については室内ユニットの据付工事説明書の「試運転」項目を参照してください。

お知らせ サービス用パスワードについては「5.サービスメニュー」の項を参照してください。

4．初期設定（リモコン設定）

メイン画面から、「メインメニュー」→「初期設定」よりリモコン本体への各種設定をおこないます。

初期設定メニュー（１／２）
- 主従設定
- リモコン名称設定
- 時刻設定
- メイン画面表示設定
- コントラスト調整

初期設定メニュー（２／２）
- リモコン表示設定
  - －時刻表示
  - －温度単位表示
  - －吸込温度表示
  - －自動冷暖表示
- 自動モード設定
- CO_2表示設定（スリムのみ）
  （リモコンの取扱説明書を参照ください）
- 管理者用パスワード登録

（1）主従設定

ペアリモコンで使用する時には必ず設定が必要です。ペアリモコンのうち１台を従リモコンに設定してください。

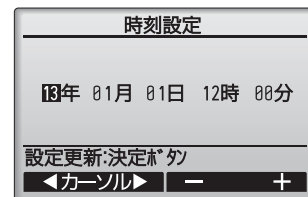
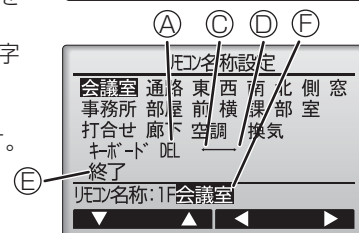
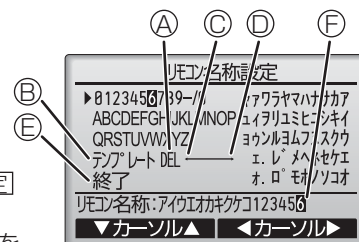
【操作方法】

① F3 F4 ボタンを操作すると現在選択している項目が反転表示されます。従リモコンを選択した後、決定 ボタンにより設定更新します。

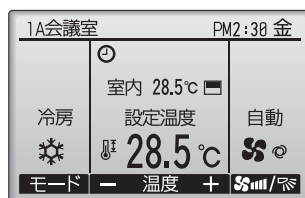
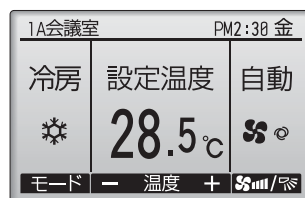
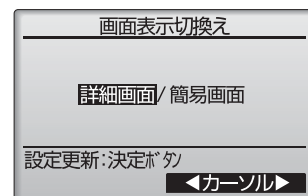
②設定後、メニュー ボタンでメインメニュー画面に戻ります。
　（以降の操作も、メインメニュー画面に戻る方法は同じです）

（2）リモコン名称設定
メイン画面に表示させる、リモコン名称の設定をおこないます。
リモコン名称は半角16文字まで入力できます。（テンプレートで入力した文字は１文字あたり半角2文字分となります。）

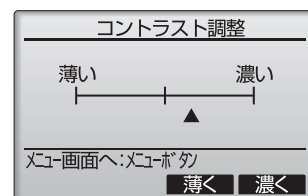
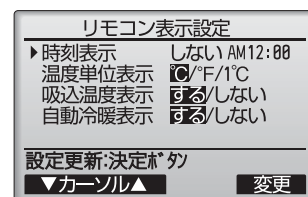
【操作方法】
①F1～F4ボタンにて文字を選択し、決定ボタンで１文字ずつ決定します。
②決定した文字を消去する場合は消去したい文字にカーソルを合わせて「DEL」Ⓐを選択し決定ボタンを押します。
③「テンプレート」Ⓑを選択して決定ボタンを押すと、テンプレートを選択してリモコン名称を入力できます。（テンプレートは変更できません。）
④「←」Ⓒ「→」Ⓓを選択すると、リモコン名称の文字入力カーソルⒻの文字が対象となり文字消去、変更ができます。

⑤入力が完了したら、「終了」Ⓔを選択します。決定ボタンを押してリモコン名称を決定します。

（3）時刻設定
【操作方法】
①F1 F2ボタンで変更する項目に移動します。
②F3 F4ボタンにて、年月日時分を変更し、決定ボタンで設定更新します。
設定更新したデータは、メイン画面の時刻表示に反映されます。

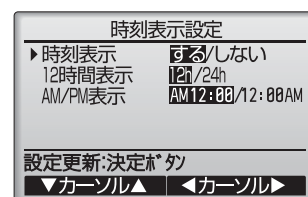
お知らせ 「時刻表示・週間スケジュール・タイマー動作・異常などの履歴」に必要なため、初めてご使用になるときや長期間ご使用にならなかったときは必ず設定してください。

（4）メイン画面表示設定
F3 F4ボタンにてメイン画面表示を設定します。（工場出荷時は詳細画面です。）

詳細画面（例）

簡易画面（例）

お知らせ 本設定によりメインメニュー画面など、他の画面は変わりません。
簡易画面では「タイマー、スケジュールなどの（制御）状態を示すアイコン」や「風向・ルーバー・換気・室内温度」が表示されません。

（5）コントラスト調整
【操作方法】
F3 F4ボタンにてリモコンの液晶表示のコントラストを調整します。現在の設定が▲で示されます。

お知らせ 据付位置や照明によって表示が見えにくい場合、コントラスト調整することにより改善する場合があります。
コントラスト調整により全方向から見えやすくすることはできません。

（6）リモコン表示設定
リモコンの表示に関する各項目について、必要に応じ設定をおこないます。
各項目を設定後、決定ボタンにて設定更新します。

リモコン表示設定画面

①時刻表示
【操作方法】
・リモコン表示設定画面の「時刻表示」にてF4（変更）ボタンを押すと、時刻表示設定画面が表示されます。
・F1～F4ボタンにより、メイン画面に表示する時刻表示の有無、時刻表示形式を選択します。
・決定ボタンにより設定を更新します。（工場出荷時は"表示する／AM12:00表示"です。）

時刻表示　：・する（メイン画面に時刻表示します）
　　　　　　・しない（メイン画面に時刻表示しません）
12時間表示　：・24h（24時間表示）　・12h（12時間表示）
AM/PM表示（12時間表示の時のみ有効となります）：・AM12:00（時刻の前にAM/PM表示）
　　　　　　・12:00AM（時刻の後にAM/PM表示）

お知らせ 12時間表示形式、12時間／24時間表示はタイマー、スケジュールなどの設定表示にも反映されます。
12時間表示、24時間表示それぞれの表示例は以下の通りです。

12時間表示：	AM12:00	～	AM1:00	～	PM12:00	～	PM1:00	～	PM11:59
24時間表示：	0:00	～	1:00	～	12:00	～	13:00	～	23:59

②温度単位表示

【操作方法】

リモコン表示設定画面の、「温度単位表示」にカーソルを合わせ、[F3][F4] ボタンにて設定します。（工場出荷時は摂氏（℃）です。）

・℃ ：温度表示単位を摂氏表示にします。
　室内ユニットの種類により表示単位を0.5℃または1℃単位で表示します。
・°F ：温度表示単位を華氏表示にします。
・1℃：温度表示単位を摂氏表示（1℃単位）にします。従リモコンの場合には本項目は表示されません。

③吸込温度の温度表示

【操作方法】

リモコン表示設定画面の、「吸込温度表示」にカーソルを合わせ、[F3][F4] ボタンにて設定します。（工場出荷時は「する」です。）

・す　る：メイン画面に室内温度を表示します。
・しない：メイン画面に室内温度を表示しません。

お知らせ 「する」に設定しても簡易画面には室内温度が表示されません。

④自動冷暖表示

【操作方法】

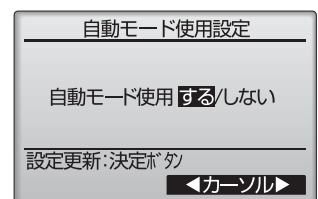
リモコン表示設定画面の、「自動冷暖表示」にカーソルを合わせ、[F3][F4] ボタンにて設定します。（工場出荷時は「する」です。）

・す　る：自動モード運転時、「自動冷房」または「自動暖房」が表示されます。
・しない：自動モード運転時、「自動」のみが表示されます。

（7）自動モード設定

【操作方法】

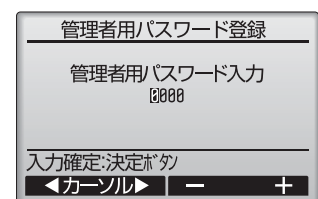
自動運転モード機能のある室内ユニットに接続した場合、自動モード使用、不使用を [F3][F4] ボタンにて設定します。（工場出荷時は使用「する」です。）
[決定] ボタンにより設定を更新します。

・す　る：運転モード選択時に自動モードを表示します。
・しない：運転モード選択時に自動モードを表示しません。

（8）管理者用パスワード登録

【操作方法】

①最初に現在設定されている管理者用のパスワード（数字4桁）を入力します。
　[F1][F2] ボタンで桁を選択し、[F3][F4] ボタンにて0～9の数字を設定します。
②4桁のパスワードを入力後、[決定] ボタンを押します。

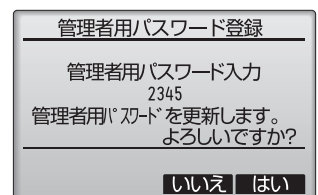
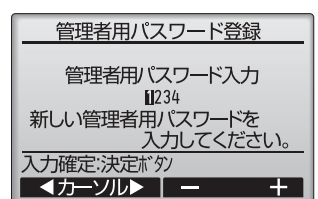
お願い 管理者用パスワードの初期値は「0000」です。管理者以外の方が設定変更しないよう、必要に応じパスワードを変更してください。 パスワードは必要な方が分るよう適切に管理してください。

お知らせ 管理者パスワードを忘れてしまった場合、管理者用パスワード登録画面にて [F1][F2] ボタンを同時に3秒連続押しすると、パスワードを「0000」に初期化できます。

③パスワードが一致すると新規パスワード入力画面になります。
　同じ要領で新しい管理者用パスワードを設定し、[決定] ボタンを押します。

管理者用パスワード登録
管理者用パスワード入力
1234
新しい管理者用パスワードを入力してください。
入力確定:決定ﾎﾞﾀﾝ
◀カーソル▶ − ＋

④パスワード更新確認画面が表示されますので、[F4]（はい）ボタンにて更新します。
　取り消す場合は [F3]（いいえ）ボタンを押します。

管理者用パスワード登録
管理者用パスワード入力
2345
管理者用ﾊﾟｽﾜｰﾄﾞを更新します。よろしいですか？
いいえ はい

お知らせ 管理者用パスワードは下記項目の設定時に必要となります。 ・タイマー設定　・週間スケジュール設定　・室外サイレントモード設定 ・制限設定　・省エネ設定 各設定の詳細は本リモコンの取扱説明書を参照してください。

5. サービスメニュー〈サービス用パスワードが必要です〉

メイン画面から、「メインメニュー」→「サービス」より各種サービスメニューでの設定、操作を行います。

サービスメニューを選択するとパスワード入力画面が表示されます。
現在設定されているサービス用のパスワード（数字4桁）を入力します。
F1 F2 ボタンで桁を選択し、F3 F4 ボタンにて0～9の数字を設定します。
4桁のパスワードを入力後、決定 ボタンを押します。

お願い サービス用パスワードの初期値は「9999」です。管理者以外の方が設定変更しないよう、必要に応じパスワードを変更してください。
パスワードは必要な方が分かるよう適切に管理してください。

お知らせ サービス用パスワードを忘れてしまった場合、サービス用パスワード入力画面にて F1 F2 ボタンを同時に3秒連続押しするとパスワードを「9999」に初期化できます。

サービスメニュー
サービス用パスワード入力
9999
入力確定:決定ボタン
◀カーソル▶ ー ＋

パスワードが一致すると、サービスメニューが表示されます。
接続されている室内ユニットの種類（マルチエアコンまたはスリムエアコン）により、表示されるメニューが異なります。

〈スリム〉

サービスメニュー 1/2
▶試運転
サービス情報登録
機能選択
点検
自己診断
メインメニューへ:戻るボタン
▼カーソル▲

サービスメニュー 2/2
▶ローテーション設定
サービス用パスワード登録
リモコン機能設定
リモコン診断
リモコン設定初期化
メインメニューへ:戻るボタン
▼カーソル▲

〈マルチ〉

サービスメニュー 1/2
▶試運転
サービス情報登録
ロスナイ設定
点検
自己診断
メインメニューへ:戻るボタン
▼カーソル▲

サービスメニュー 2/2
▶サービス用パスワード登録
リモコン診断
機能選択
リモコン設定初期化
メインメニューへ:戻るボタン
▼カーソル▲

お知らせ サービスメニューの項目によっては空調機を停止させる必要があります。
また、集中コントローラから集中管理中は操作できない場合があります。

サービスメニュー
空調機を停止させてから
操作してください。
サービスメニューへ:戻るボタン

サービスメニュー
集中管理中のため
運転/停止操作ができません。
サービスメニューへ:戻るボタン

（1）試運転（マルチ/スリム共通）
サービスメニューにて「試運転」を選択すると、試運転メニュー画面が表示されます。

・試運転操作：試運転をおこないます。
・ドレンポンプ試運転操作：室内ユニットに搭載しているドレンポンプの試運転を行います。
試運転に対応している室内ユニットに対してのみ有効です。

お知らせ 試運転の詳細については室内ユニットの据付工事説明書の「試運転」項目を参照してください。

試運転メニュー
▶試運転操作
ドレンポンプ試運転操作
サービスメニューへ:メニューボタン
▼カーソル▲

（2）サービス情報登録（マルチ/スリム共通）
サービスメニューにて「サービス情報登録」を選択すると、サービス情報登録画面が表示されます。
操作方法の詳細については室内ユニットの据付工事説明書を参照してください。

お知らせ サービス情報登録メニューでは下記の設定が行えます。
・形名登録
室外ユニット、室内ユニットの形名、製造番号を登録します。登録した内容は異常情報画面に表示されます。形名は半角18文字、製造番号は半角8文字まで入力できます。
・販売店・サービス店登録
販売店名、サービス店名および電話番号を登録します。登録した内容は異常情報画面に表示されます。店名は半角10文字、電話番号は半角13文字まで入力できます。
・サービス情報初期化
形名登録内容、または販売店・サービス店登録を選択し、登録内容を全て初期化します。

サービス情報登録
▶形名登録
製造No.登録
販売店・サービス店登録
サービス情報初期化
サービスメニューへ:メニューボタン
▼カーソル▲

（3）ー1　機能選択（スリム）
リモコンから必要に応じ各室内ユニットの機能を設定します。サービスメニューにて「機能選択」を選択すると、機能選択画面が表示されます。

機能選択
▶冷媒アドレス 0
号機 共通/1/2/3/4/全て
モニタ開始:決定ボタン
▼カーソル▲ ーアドレス＋

【操作方法】
①最初に F1 ～ F4 ボタンにて接続されている室内ユニットの冷媒アドレス・号機を設定し 決定 ボタンにて現在の設定を表示確認します。対象号機は表1の通り機能選択モードに準じて選択してください。

②室内ユニットからのデータ収集が完了すると、現在の設定番号が反転して表示されます。反転表示が無いモードは機能が無いことを表しています。
号機で指定した共通・号機によりモニタ結果画面が異なります。

機能選択
冷媒アドレス 0 共通 (1/4)
▶モード 1 1/2/3 停電自動復帰
モード 2 1/2/3 室温検知位置
モード 3 1/2/3 ロスナイ接続
モード 4 1/2/3
設定送信:決定ボタン
▼カーソル▲ ◀カーソル▶

共通項目

③ F1 F2 ボタンにてモード番号を選択し、F3 F4 ボタンにて設定番号を変更します。

機能選択
冷媒アドレス 0 1号機 (1/4)
▶モード 7 1/2/3 フィルターサイン
モード 8 1/2/3 風量
モード 9 1/2/3 吹出口数
モード 11 1/2/3 オプション組込み
設定送信:決定ボタン
▼カーソル▲ ◀カーソル▶

個別（1号機～4号機）項目

④変更する全てのモード番号の設定が完了したら、決定 ボタンを押します。リモコンから室内ユニットへ設定内容を送信します。

機能選択
冷媒アドレス 0 共通
設定送信中

⑤正常に通信が完了すると、最初の機能選択画面に戻ります。

お願い
- スリムエアコンで変更が必要な場合のみ設定してください。
- **表1は代表的なモード番号の内容です。室内ユニットの出荷設定内容・モード番号・設定番号についての詳細は室内ユニットの据付工事説明書を参照してください。**
- 工事完了後、機能選択により室内ユニットの機能を変更した場合は、必ず全設定内容を別紙に記録するなど、設定状態を管理してください。

表1.機能選択内容

モードNo.	モード	設定内容	設定番号	対象号機
01	**停電自動復帰**	無し	1	号機「共通」1を選択します。 全室内ユニットに対して設定を行う項目です。
		有り（電源回復後、約4分間の待機が必要です）	2	
02	**室温検知位置**	同時運転室内ユニット平均	1	
		リモコン接続室内ユニット固定	2	
		リモコン内蔵センサー	3	
03	**ロスナイ接続**	接続無し	1	
		接続有り（室内ユニット外気取入れ無し）	2	
		接続有り（室内ユニット外気取入れ有り）	3	
16	**加湿器制御切換**	定時	1	
		常時	2	
17	**霜取制御切換**	標準	1	
		北陸仕様	2	
07	**フィルターサイン**	100時間	1	号機「1～4、全て」を選択して設定します。 各室内ユニットに対して設定を行う項目です。 ・「1～4」号機を選択した場合は、同時ツイン・同時トリプル・同時フォーの各室内ユニットごとに設定します。 ・「全て」を選択した場合は、同時ツイン・同時トリプル・同時フォーの各室内ユニット全て同一に設定します。
		2500時間	2	
		表示無し	3	
08	**風量**	静音（または標準）	1	
		標準（または 高天井①）	2	
		高天井（または 高天井②）	3	
09	**吹出し口**	4方向	1	
		3方向	2	
		2方向	3	
10	**オプション組込（高性能フィルター）**	無し	1	
		有り	2	

（3）－2　機能選択（マルチ）　　室内ユニットの据付工事説明書を参照してください。
（3）－3　機能選択（外気処理）　外気処理ユニットの据付工事説明書を参照してください。
（4）ロスナイ設定（マルチのみ）

マルチエアコンでロスナイとの連動運転をおこなう場合のみ設定します。スリムエアコンでは設定できません。
リモコンが接続されている室内ユニットに対し設定（ロスナイ登録・登録した内容の検索・登録の抹消）を行うことができます。

お願い
- 集中コントローラが接続される場合は、集中コントローラより設定してください。
- ロスナイと連動設定させる場合、必ずグループ内全ての室内ユニットのアドレスとロスナイのアドレスを連動設定してください。

【操作手順】

①サービスメニューにて「ロスナイ設定」を選択すると、自動的に現在リモコンが接続している室内ユニットに登録されているロスナイのアドレス検索をおこないます。

②検索が完了すると、現在リモコンが接続されている室内ユニットの最小アドレスと登録されているロスナイのアドレスを表示します。
ロスナイが登録されていない場合は、ロスナイアドレスには「無」が表示されます。

ロスナイ設定
室内機アドレス　5
ロスナイアドレス　30
実行内容選択　設定/検索/抹消
実行:決定ボタン
▼カーソル▲　－ アドレス ＋

ここで設定する必要がなければ、戻るボタンを押して、「サービスメニュー」に戻ります。

ロスナイを登録する場合

③室内ユニットのアドレスとロスナイのアドレスを F1 ～ F4 ボタンにて設定し、「実行内容選択」で「設定」を選択し、決定 ボタンを押します。

「設定中」が表示され、正常に設定完了すると、「設定完了」が表示されます。

ロスナイ設定
室内機アドレス　5
ロスナイアドレス　30
設定中

設定中

ロスナイ設定
室内機アドレス　5
ロスナイアドレス　30
設定完了
前の画面へ:戻るボタン

正常終了

ロスナイアドレスを検索する場合

④ロスナイアドレスを検索したい場合は、リモコンが接続されている室内ユニットのアドレスを設定し、「実行内容選択」で「検索」を選択し、決定 ボタンを押します。
「検索中」が表示され、正常に設定を受信すると室内ユニットアドレスとロスナイアドレスを表示します。
ロスナイが登録されていない場合は、ロスナイアドレスには「無」が表示されます。
指定した室内ユニットのアドレスが存在しない場合は、「対象室内機が存在しません」を表示します。

ロスナイ設定
室内機アドレス　5
ロスナイアドレス
検索中

ロスナイ設定
室内機アドレス　5
ロスナイアドレス
対象室内機が存在しません。
前の画面へ:戻るボタン

ロスナイの登録を解除する場合

リモコンが接続されている室内ユニットとロスナイの登録設定を解除する場合に使用します。

⑤室内ユニットのアドレスとロスナイのアドレスを F1 ～ F4 ボタンにて設定し、「実行内容選択」で「抹消」を選択し、決定 ボタンを押します。

「抹消中」が表示され、正常に解除が完了すると検索結果画面に戻ります。
指定した室内ユニットのアドレスが存在しない場合は、「対象室内機が存在しません」を表示します。
解除が正常におこなわれなかった場合は、「正常に終了できませんでした」を表示します。

ロスナイ設定
室内機アドレス　5
ロスナイアドレス　30
抹消中

ロスナイ設定
室内機アドレス　5
ロスナイアドレス　30
正常に終了できませんでした。
前の画面へ:戻るボタン

(5) 点検
サービスメニューにて「点検」を選択すると、点検メニュー画面が表示されます。
接続されている室内ユニットがマルチエアコンかスリムエアコンかにより、表示されるメニューが異なります。

〈スリム〉　〈マルチ〉

①異常履歴
点検メニューにて「異常履歴」を選択し、決定ボタンを押すと異常履歴を最大16件表示します。
各ページに4件ずつ表示され、1/4ページの先頭の表示が最新の異常履歴となります。

【異常履歴消去】
異常履歴が表示されている画面で F4 (消去）ボタンを押すと、異常履歴消去の確認画面が表示されます。

F4 (はい）ボタンを押します。

「異常履歴を消去しました」が表示されます。
戻る ボタンを押して、点検メニュー画面に戻ります。

異常履歴
異常履歴を消去しました。
点検ﾒﾆｭｰに戻る:戻るﾎﾞﾀﾝ

②他の点検メニュー項目（スリムのみ）
点検メニューでは、異常履歴の他に以下の項目があります。
・冷媒量判定
・スマートメンテナンス
・要求コード送信
これらの項目はスリムエアコン専用です。詳細については室内ユニット据付工事説明書を参照してください。

(6) 自己診断
リモコンにて各ユニットの異常履歴を検索します。
【操作手順】
①サービスメニューにて「自己診断」を選択し、 決定 ボタンを押すと自己診断画面を表示します。

〈スリム〉　〈マルチ〉

自己診断
冷媒ｱﾄﾞﾚｽ 0
ｱﾄﾞﾚｽ確定:決定ﾎﾞﾀﾝ
－アドレス＋

自己診断
M-NETｱﾄﾞﾚｽ 1
ｱﾄﾞﾚｽ確定:決定ﾎﾞﾀﾝ
－アドレス＋

② F1 F2 ボタンにて冷媒アドレス（スリムの場合）、またはM-NETアドレス（マルチの場合）を設定し、 決定 ボタンを押します。

③異常コード・号機・属性・室内ユニットの接点デマンドON/OFF状態（マルチのみ）が表示されます。異常履歴が無い場合は、「－」が表示されます。

〈スリム〉　〈マルチ〉

異常履歴が無い場合の画面例

【異常履歴リセット】
①異常履歴表示中に F4 (リセット）ボタンを押すと確認画面が表示されます。

自己診断
冷媒ｱﾄﾞﾚｽ 0
異常履歴をリセットします。
よろしいですか?
いいえ
はい

②確認画面にて F4 (はい）ボタンを押すと室内ユニットの異常履歴を消去します。
消去できなかった場合は「正常に終了できませんでした。」ユニットから応答が無い場合は「対象室内ユニットが存在しません。」を表示します。

（7）サービス用パスワード登録
サービスメニューの操作をおこなうためのパスワードを変更します。
【操作手順】
①サービスメニューにて「サービス用パスワード登録」を選択し、決定ボタンを押すと新規パスワード登録画面を表示します。

② F1 F2 ボタンで桁を選択し、F3 F4 ボタンにて0～9の数字を設定します。

③4桁のパスワードを入力後、決定ボタンを押します。

④パスワード更新確認画面が表示されますので、F4（はい）ボタンにて更新します。
取り消す場合は F3（いいえ）ボタンを押します。

サービス用パスワード登録
サービス用パスワード入力
2345
ｻｰﾋﾞｽ用ﾊﾟｽﾜｰﾄﾞを更新します。
よろしいですか?
いいえ　はい

⑤パスワード更新の場合は、更新完了画面が表示されます。

⑥ メニュー ボタンにてサービスメニューへまたは 戻る ボタンで「サービス用パスワード登録画面」に戻ります。

サービス用パスワード登録
サービス用パスワード入力
2345
サービス用パスワードを
更新しました。
ｻｰﾋﾞｽﾒﾆｭｰへ:ﾒﾆｭｰﾎﾞﾀﾝ

（8）リモコン機能設定（スリムのみ）
以下の時、本設定を行ってください。
・冷媒アドレス・号機を指定する画面で、実際に接続されている室内ユニットのアドレス・号機が表示されないとき。
・メンテナンスメニュー画面で"無"が表示されている項目に対して操作を行いたいとき。

【操作手順】
①サービスメニューにて「リモコン機能設定」を選択し、決定 ボタンを押すとリモコン機能設定画面を表示します。
②アドレスおよび号機の全指定「する/しない」を F3 F4 ボタンで選択します。
③選択後、 メニュー ボタンでサービスメニュー画面に戻ります。
（工場出荷時は「しない」です。）
・す　る：実際に接続されているユニットに無関係に全アドレス・全号機への設定操作が行えます。
・しない：実際に接続されてるユニットのアドレス・号機のみに対し設定操作を行えます。

リモコン機能設定
▶ｱﾄﾞﾚｽ・号機全指定　する/しない
ﾒﾆｭｰに戻る:ﾒﾆｭｰﾎﾞﾀﾝ
◀カーソル▶

（9）リモコン設定初期化
リモコンの取扱説明書を参照ください。

6. リモコン診断

リモコンからの操作がきかない場合、本機能によりリモコン診断を行ってください。
（1）まずはリモコン表示の有無を確認してください（罫線含む）
リモコンに正常な電圧（DC8.5～12V）が印加されていない場合、リモコンには何も表示されません。
この場合は、リモコン配線、室内ユニットを点検してください。
【操作手順】
①サービスメニューにて「リモコン診断」を選択し、 決定 ボタンを押すとリモコン診断を開始し、結果を表示します。
リモコン診断を行わない時は、 メニュー または 戻る ボタンを押すと、リモコン診断メニューから抜けることができます。この時、リモコンは再立上げを行いません。

リモコン診断への移行画面
（表示例はスリムの場合）

リモコン診断
OK
ﾘﾓｺﾝ診断終了:決定ﾎﾞﾀﾝ

リモコン診断結果の画面

OK	：リモコンに問題はありません。他の原因を調査してください。
E3、6832	：伝送線にノイズがのっている、あるいは室内ユニット、他のリモコンの故障が考えられます。伝送路、他のコントローラを調査してください。
NG（ALL0、ALL1）	：リモコン送受信回路不良です。リモコンの交換が必要です。
ERC（データエラー数）	：データエラー数とはリモコンの送信データのビット数と実際に伝送路に送信されたビット数の差を示します。この場合、ノイズなどの影響で送信データが乱れています。伝送路を調査してください。

②リモコン診断結果表示後、 決定 ボタンを押すとリモコン診断を終了し、自動的に再立上げが行われます。

冷熱システム製作所　〒640-8686 和歌山市手平6-5-66 ☎(073)436-2111(大代表)